

令和8年9月24日

報道関係者 各位

(県政記者クラブ、横浜市記者クラブ同時発出)

令和8年熊本地震

【熊本地震】日赤救護班（みなと赤十字病院）を派遣 被災地の医療ニーズに応じた救護活動を実施しました

日本赤十字社神奈川県支部および横浜市立みなと赤十字病院は、令和8年熊本地震における被災者支援のため、9月19日から9月24日まで、横浜市立みなと赤十字病院から2班目となる救護班（神奈川県内赤十字病院として4班目）医師、看護師など計10名を熊本県八代市へ派遣しました。

現地では、災害対策本部及び保健医療福祉調整本部と調整を図りながら、避難所における医療需要の調査や環境整備などの活動にあたりました。

今後も、被災地の支援ニーズの変化を踏まえながら、必要な支援を行ってまいります。



巡回診療の様子

【派遣期間】 令和8年9月19日（土）～9月24日（木）

（現地での実活動期間：9月20日（日）～9月23日（水））

【派遣先】 熊本県八代市内

【活動内容】 避難所における医療需要の調査・巡回診療、避難所における感染防止対策の実施や環境整備 等

【派遣人数】 救護班 計10名（日本赤十字社神奈川県支部職員2名を含む）

【お問い合わせ先・取材申込み先】

日本赤十字社神奈川県支部総務企画課企画広報係

TEL: 045-681-2124 Email: kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp

★被災地支援に関する当院の取り組みとして、
ぜひご紹介くださいますようお願いいたします。